

## 香川県の雇用情勢（令和6年12月分）

- 12月の有効求人倍率（季調値） **1.44倍**（前月差 ▲0.01ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.35倍**（前年同月差 0.08ポイント）
- 雇用情勢判断 「求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」
- 令和6年平均の有効求人倍率(原数値) **1.44倍**（前年差 ▲0.01ポイント）

## 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月より0.01ポイント低下。161か月連続で1倍台(全国第6位、全国1.25倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.08ポイント上昇(全国第8位、全国1.11倍)

年月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率	1.43	1.44	1.46	1.48	1.45	1.44
正社員有効求人倍率	1.16	1.21	1.24	1.27	1.28	1.35

(注) 1. 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。  
2. 令和5年12月以前の季節調整値は、新季節指数により改定されている。

## 2 雇用情勢判断

- 判断を据え置き

変更した月	変更した内容	判断方向
令和6年5月	求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	上方修正
令和5年10月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和4年9月	持ち直している	据え置き
令和4年6月	新型コロナウイルス感染症の影響を注視する必要があるものの、持ち直している	据え置き

## 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、7,330人(前年同月比0.5%増)3か月連続で増加  
増加した主な産業は、サービス業(他に分類されないもの)、教育、学習支援業、不動産業、物品賃貸業等  
減少した主な産業は、生活関連サービス業、娯楽業、製造業、卸売業、小売業等

年月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年同月比(%)	0.5	2.4	▲4.8	3.9	4.3	0.5

## 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、2,582人(前年同月比2.0%減)5か月連続で減少

年月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年同月比(%)	0.2	▲12.6	▲4.6	▲0.2	▲6.3	▲2.0

※令和3年9月以降の数値より、オンライン上で求職登録した求職者が含まれている。